

令和4年度事業報告

1. 事業概況

この年度は、期初には新型コロナウイルス感染第6波が収束に向かい、施設利用制限を緩和できる状況に好転したことから、デイサービスやショートステイ利用者の増加回復が見込まれる滑り出しとなりました。

しかしながら、長引くコロナ禍に加えてウクライナ侵攻による世界的な資源価格の高騰と円安による物価上昇があり、当法人の経営コストを押し上げることとなりました。

また、7月からの第7波、12月からの第8波の影響を受け、当法人でもクラスターが発生し、とりわけ特養部門の収益機会を著しく逸する事態に及びました。

この結果、法人全体の令和4年度サービス活動収益は前年比18,264千円増の596,037千円となりました。費用面では修繕費の減少がありましたが、人件費、給食費、水道光熱費や消耗器具備品費の増加があり、法人全体のサービス活動費用は前年比33,001千円増の634,228千円となり、サービス活動増減差額は前年比14,737千円減の▲38,190千円、経常増減差額は投資有価証券評価益を受け前年比11,619千円減の▲36,687千円となりました。

今後は、特養部門の入所利用を早期に回復させるとともに、引き続きショートステイ、デイサービス部門の稼働率を改善することで損益改善に努めてまいります。

あわせて、感染対策を徹底するとともに、利用者の転倒等の事故件数減少のためのチーム改善活動を推進し、サービス品質の向上に努力してまいります。

2. 事業別サービス活動収益内訳

(単位：千円)

	R4年度	R3年度	増減
特別養護老人ホーム	340,791	348,843	▲8,052
ショートステイ	74,511	56,711	+17,800
デイサービス	37,649	29,884	+7,765
地域包括支援	22,885	21,625	+1,260
居宅介護支援	26,819	27,382	▲563
ヘルパーステーション永楽	19,355	21,490	▲2,135
あすなろハウス永楽	74,227	72,081	+2,146
法人 計	596,037	577,773	+18,264

3. 主要事業別概況

1) 特別養護老人ホーム	R4 年度	R3 年度	R2 年度
利用者延人数 (名)	23,398	24,781	24,949
稼働率 (%) *1	91.6	97.0	97.7
平均介護度 *2	3.55	3.70	3.80

2) ショートステイ	R4 年度	R3 年度	R2 年度
利用者延人数 (名)	5,285	4,156	5,532
稼働率 (%) *1	72.4	56.9	75.8
平均介護度 *2	2.86	2.80	2.70

3) デイサービス	R4 年度	R3 年度	R2 年度
利用者延人数 (名)	4,902	3,486	4,367
稼働率 (%) *1	45.0	30.8	40.3
平均介護度 *2	1.70	1.70	1.80

4) あすなろハウス永楽	R4 年度	R3 年度	R2 年度
利用延室数 (室)	15,718	15,633	16,281
稼働率 (%) *1	91.6	89.2	93.6
平均介護度 *2	1.54	1.60	1.80

*1 稼働率=延人数÷(年稼働日×定員数)

*2 平均介護度=要支援はゼロとした累計介護度÷(要支援1～要介護5)の人数

4. 主な経営指標

	R4 年度	R3 年度	R2 年度	R4/R3 比
人件費 (千円)	399,441	368,204	373,884	+31,237
人件費率 (%)	67.0	63.7	62.3	+3.3P
水道光熱費 (千円)	45,606	39,012	38,185	+6,594
修繕費 (千円)	3,379	9,351	5,773	▲5,972
業務委託費 (千円) *3	48,880	54,735	45,674	▲5,851
減価償却費 (千円)	45,040	45,041	62,620	▲1
期末総職員数 (含む産休)	115	111	113	+4
常勤職員数 (名)	82	81	82	+1
非常勤職員数 (名)	33	30	31	+3
非常勤比率 (%)	28.7	27.0	27.4	+1.7P
※産休職員数 (名)	(3)	(8)	(9)	(▲5)

*3 業務委託費のうち R3 年度に関しては派遣職員費 8,757 千円を計上しています

5. 借入金の状況 (2023(R5).3.31 現在)

単位：千円

	借入金額	年返済額	借入残高	完済年	借入先	備考
あすなろの郷建設資金	423,000	21,150	21,150	2023年	福祉医療機構	2023年度で返済完了
サ高住建設資金	200,000	8,340	122,160	2037年	医師信用組合	
サ高住建設資金	200,000	8,340	122,160	2037年	北陸銀行	
運転資金	60,000	4,956	60,000	2036年	福祉医療機構	2024年度下期より返済開始
合計	883,000	42,786	325,470			

6. 主な取り組み

- ・サ高住 空調機 EHP への切り替えと利用室別電気料金算定の準備
- ・外国人技能実習生(4名)の採用
- ・包括・居宅 個人情報保護のためのパーティション工事
- ・送迎 福祉車両(軽四)への更新
- ・情報基盤 請求ソフト(ほのぼの NEXT ライセンス更新)
- ・部門リーダー 業績管理の意識付け、計数情報の共有

7. 対処すべき課題

- ・特養をはじめとするサービス部門の稼働率向上
- ・食材費、電力費など高騰コストのご利用者様負担
- ・新型コロナウイルス感染予防・拡大防止対策の継続
- ・リスク管理徹底による防げる事故、防げた事故の削減
- ・IT活用、業務改善のための基盤づくり(5S活動推進と情報共有基盤調査)
- ・BCP(事業継続計画)の構築と運用